

# だいこう通信

2021  
春号

料金後納郵便

ゆうメール

東幹雄です!



春らしい陽ざしを感じるこの頃、みなさまいかがお過ごしでしょうか?

コロナ禍でお葬式の意味や目的が一層わからなくなっている今だからこそ、お客様には私たちの提供するお葬式によって、命やご縁の大切さを感じてもらったり、当たり前ではなくお陰様という「感謝」を感じていただきたいと思っています。そして、お客様からいただく感謝のお声が私たちの仕事へのやりがいです。その感謝の糸を紡いでいき、地域のお子様たちが素直に「ありがとう」と言える世の中作りを少しでもお手伝いしたいと思います。桜咲く季節はもうすぐそこです。みなさまお元気で過ごしてください!

## TOPIC1

### 新しいプランナーを紹介します!

はじめまして、

腰真吾と申します。



私は以前より葬儀関係の仕事をしていました。転職に際して大光のホームページを見てみると「感謝の気持ちがあふれるあたたかいお葬式」「お葬式は最後の恩返し」といった言葉が目にとまり、究極のサービス業であるお葬式の仕事をもう一度したいと決意し大光の門を叩くことになりました。

私の大事にしていることは、大切な方を亡くされたご遺族の目線に立つてご提案をするよ

ういつも心がけていることです。この世に一つとして同じお葬式はないので、その人らしいお葬式になるようお手伝いをさせていただければ幸いです。

これからもお葬式を通して地域貢献できるように日々努めていきますので、皆様宜しくお願

い致します!

どうぞよろしく  
お願いします!



## TOPIC2

### 地域限定で人形供養を開催いたしました。

たくさんの  
お人形が  
集まりました!



昨年12月にコロナ禍のイベントとして、出張人形供養を開催しました。コロナ感染拡大防止のため地域を限定して実施させて頂きましたが、3密を防ぐ目的からお客様宅へ出張して人形をお預かりすることにしましたことをご安心頂いたのが、多くの方々にご利用を頂きました。みなさまからお預かりした思い出の詰まったぬいぐるみや人形たちは、お寺様と我々スタッフでお参りし丁寧にご供養させていただきますました。今後も感染対策を万全にしながら、みなさまのお役に立てるようなイベントを企画して参ります。



〒923-0801 小松市園町口37-1 TEL/0761-20-1082

セレモニースクエア大光

検索

▼裏面もぜひご覧ください。



お問い合わせはこちらまで。

0120-241-082

24時間受付・年中無休・携帯電話からもOK

# お客様の声

お客様の感謝のお声が、  
私たちに仕事への情熱と  
やりがいを与えてくれます。  
これからもお客様から感謝の  
お声をたくさんいただけるよう  
がんばります！

※お客様のご了承の上掲載させて頂いております。

今回の義父の葬儀は初めて私たちが執り行う立場となり、大変なことだと思いましたが、担当の重吉高行様・千滝様には頭の下がる思いでした。一番感心し、感動したところは、私たち遺族の思いを全てかなえてくれたことです。私も主人も子供たちも思いが叶い涙しました。私も主人も一生忘れることはないと思います。本当に大光さんで義父を見送って良かったと思えました。何度思い出しても大変なお仕事であり、遺族の思いを読み取り、その気持ちになり進行していく仕事、素晴らしいとしか言いようがありません。本当に感動をありがとうございます。

小松市 / 蔦 千江子様

ウェブにもたくさんの  
「お客様の声」を  
掲載中です▶



私たち家族と一緒に、なるべく楽しく、思い出に残る葬儀を考え実行していただき、本当によい式になりました。

棺の中はたくさんのお花で満たされ、ギリギリにお渡しした竹やぶや田んぼの写真も棺に入れてくださり、ゆったりした時間の中でお別れできました。他にも、カニ好きの父のために本物のカニを用意して下さり、カラオケ好きに因んで手作りのマイクも入れてくださいました。妻も「葬儀ってこんなに明るいものだったっけ」と驚いていました。

また、足が悪いため出席を控えようとする母をなんとか説得し、葬儀に出してもらいましたが、出棺時には母に見えるよう、低い場所へ移動して念入りに対応していただきました。その結果、母は「葬儀に出られてよかった」と今も思い出しては喜んでいます。

遺族に寄り添い、心に残る葬儀をありがとうございました。中さん、蒲田さん、ありがとうございました。



小松市 / 山口 健一様

## 通夜のお話。

「通夜」とはもともと「夜通し」という意味を持ち、故人を見送る葬儀までに親族や知人が夜通し守る時間とされています。

昔は現在ほど技術が発展していなかったため、生死を見極める意味でもお葬式の前に「日おく」という現実的な理由があったと考えられています。

現在はそういった生死を確認する意味合い

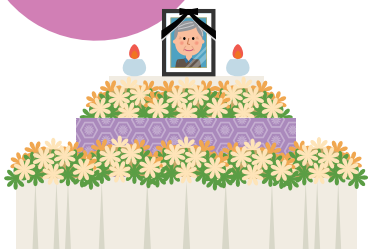
はなくなり、昼間のお葬式に参列できない弔問客のために夜も故人に会えるようになる、という性質が強まっています。

意味合いは変化していても、今も昔も故人の傍で夜を通して思い出を語り、感謝を深める温かい時間であることに変わりはありません。

これからも故人との最後の夜である通夜を大切に考えていきたいものですね。

連載コラム /

## お葬式豆知識



みなさまにとって、身近な葬儀屋さんでありたいという想いで、この通信を作成しております。感想やお葬式・仏事などのご相談は、お気軽にご連絡ください！ ☎ 0120-241-082

重吉三兄弟

